

過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業に2プロジェクト決定！

1 “宮原さん家”の団らんプロジェクト

宮原生活圏（有田市）

○主な事業内容 （交付決定額：16,141千円）

- 〔拠点整備〕旧駐在所を改修し、住民が自由に立ち寄り、誰もが我が家のようにくつろげる交流拠点を整備する
- 〔生活支援〕非常時に助け合う体制づくりを目的に、実際の避難生活を体験できるキャンプ等を実施する
- 〔文化伝承〕地域の名人を発掘し、知恵や技術を伝える他、多世代の交流や地域愛を育む

○事業実施主体 宮原地域交流協議会

○生活圏の現状 人口：4,715人 世帯数：1,664集落 高齢化率：27%（平成27年国勢調査）



2 田村に帰ろう・関わろうプロジェクト

田村生活圏（湯浅町）

○主な事業内容 （交付決定額：16,592千円）

- 〔拠点整備〕旧民宿を交流拠点に改修し、多世代の住民が集う食堂や、大人が見守る子供の自習コーナー等を整備する
- 〔交流促進〕将来にわたって活躍する人材「地域プレイヤー」を育成し、愛郷心を育む「田村みらい塾」を開催する
- 〔産業振興〕地域製品の可能性を拡げるため、ミカンの加工実演販売やオンラインショップを開設する

○事業実施主体 田村協議会

○生活圏の現状 人口：968人 世帯数：276世帯 高齢化率：30%（平成27年国勢調査）



ミカン丸絞りジュース

※ 県内の取組数：国事業(22生活圏24プロジェクト[上記を含む])、県事業(19生活圏19プロジェクト)

〔参考〕 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業の概要

当事業は、本県が生活圏を単位とした過疎地域再生・活性化支援制度の創設を国に提案し、総務省で制度化されました。基幹集落を中心として周辺の集落との間で「集落ネットワーク圏」を形成し、生活の営み（日常生活支援機能）を確保するとともに、生産の営み（地域産業）を振興するために「地域運営組織等」が行う取組を支援するというものです。今回は、全国から31プロジェクトの応募があり、28プロジェクトが採択されました。